

## 〈研究成果の紹介〉

## シードッグを利用したカンキツの鳥害防止法

農業研究部紀南果樹研究室

## 1. 成果の内容

カンキツの果実を加害するヒヨドリは10月上旬に三重県に飛来し5月中旬まで加害を続けます。三重県の東紀州地域では温州みかんから中晩生カンキツ類まで様々な品種において被害が見られます。ヒヨドリ等の鳥害防止のために聴覚や視覚に刺激を与えて追い払う道具が考案されていますが、いずれも慣れや学習のため効果が持続しません。そこでヒヨドリを威嚇し、カンキツ園から追い払うために犬（シードッグ）を利用する方法を検討しました。

犬の種類はシードッグの中でも運動能力が高く、飼い主に忠実と言われているボーダーコリーを使いました。ヒヨドリは日の出とともにカンキツ園の周辺の山から加害にやってきて、夕方には周囲の山に帰って行きます。そこで、カンキツ園の周囲を金網で囲い、朝7時から夕方の5時までボーダーコリーを早生ウンシュウの園地に放ちました。

犬はヒヨドリやメジロを威嚇し園内を走り回ります。その結果、ヒヨドリは園地から飛び去りました。しばらくすると、再度ヒヨドリが園に近づきますが犬が近づくことにより再び園地から飛び去ります。犬の行動は時間の経過とともに減少しますが、ヒヨ

ドリによる果実への被害は、犬を放たない時の23.6%に減少しました（表）。

## 2. 技術の適用効果と適用範囲

カンキツ類だけでなく、鳥の追い払いを必要とする場面で利用できます。

## 3. 普及・利用上の問題点

犬の飲み水を必ず園内に充分確保する必要があります。また、夏場等の暑い時期に利用する場合は必ず日陰を準備しなければなりません。

(現園芸グループ 市ノ木山浩道)



写真 試験に供試したボーダーコリー（雄：18kg）

表 放犬によるヒヨドリのみかん食害防止効果

処理区	処理日	調査日数	被害果実数 (果/樹・日)
放 犬	1月22日～24日	3日	4.9
	1月29日～30日	2日	3.7
平 均			4.3 (23.6%)
無 処 理	1月15日～21日	7日	13.3
	1月25日～28日	4日	23.1
平 均			18.2

注) ( ) は無処理に対する割合